



2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社キャンディル
コード番号 1446上場取引所 東
URL <https://www.candea1.co.jp/>代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 晃生
問合せ先責任者 (役職名) 取締役(管理管掌) (氏名) 藤原 泉 (TEL) 03-6862-1701 (代)
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	9,232	9.4	396	63.3	387	87.1	202	232.5
2022年9月期第3四半期	8,441	△1.5	242	127.7	207	145.7	60	—

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 202百万円(232.5%) 2022年9月期第3四半期 60百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	22.01	21.95
2022年9月期第3四半期	6.41	6.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	5,920	2,681	45.3
2022年9月期	6,480	2,516	38.8

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 2,681百万円 2022年9月期 2,516百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2023年9月期	—	3.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,200	8.3	430	27.5	425	39.9	210	99.0	22.88

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 2023年9月期の連結業績予想については、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期3Q	10,734,200株	2022年9月期	10,734,200株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	1,533,100株	2022年9月期	1,570,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期3Q	9,180,077株	2022年9月期3Q	9,477,753株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に位置づけられたことで一層社会活動の制限は緩和されてきており、個人消費マインドも持ち直しの動きが見受けられました。また円安や賃上げなどの影響による全体的な商品・サービスの価格上昇が続いており、インフレ傾向で推移いたしました。一方、賃金以上に商品・サービス価格が上昇しているといった消費の下押しリスクの側面もあるため、引き続き留意が必要な状況であります。

建設業界としては、慢性的な人手不足が続く中での各企業の賃上げや労働環境の改善の動きにより、企業間での人材獲得競争は激しさを増しております。また木材価格においてはウッドショックによる急激な高騰からの下落傾向にあるものの、資材全体としては価格上昇が続いているといった厳しい状況下にあります。

他方、当社グループ事業に関係の深い住宅業界におきましては、国土交通省発表による2022年7月～2023年6月累計の新設住宅着工戸数は、戸建てが前年同期比91.2%、分譲マンションが前年同期比107.3%、住宅市場全体としては前年同期比98.5%とやや弱含みで推移いたしました。商環境に関しましては、インバウンドや個人消費回復により景況感は良好に推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループは「世界に誇れる独創的建物サービスで社会と感動を分かち合う」という理念にもとづき、「全ての建物に“キャンディル”」というビジョンを実現すべく、持続的な事業の成長とさらなる企業価値の向上を目指して、激しく移り変わるお客様のニーズや時代の変化に寄り添いながら、2021年に新しく閣議決定されました「住生活基本計画」に沿ったサービスの拡充に取り組み、住宅関連・商業施設関連サービスの売上拡大に努めてまいりました。また、グループが保有する経営資源を有効活用し、経営の合理化・効率化を推進するため、2023年4月1日付けで当社の連結子会社間にて会社分割（吸収分割）を行い、株式会社キャンディルテクトの「リペアサービス」「住環境向け建築サービス」を、株式会社キャンディルデザインへ承継いたしました。事業の最適化に向けて各種調整を行い、順調な滑り出しとなりました。

資材・エネルギー価格の高騰、人材獲得競争の激化などの厳しい経営環境の中、社会活動の緩やかな回復、また営業施策の奏功や業務提携効果により、当社グループのサービス提供機会は増加し、売上高は一段と回復傾向を示し、売上総利益の増加などにより営業利益は大幅に増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,232,220千円（前年同期比109.4%）、営業利益は396,473千円（前年同期比163.3%）、経常利益は387,367千円（前年同期比187.1%）、法人税等調整額を32,936千円計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は202,017千円（前年同期比332.5%）となりました。なお、当社グループでは組織再編及びM&Aの実施に伴い発生したのれん償却費を販売費及び一般管理費に144,167千円計上しており、これを加えたのれん償却前経常利益は531,534千円（前年同期比151.3%）、のれん償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は346,185千円（前年同期比168.9%）となりました。

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントとしておりますが、サービス分野別の状況は以下のとおりであります。

① リペアサービス

当第3四半期連結累計期間におけるリペアサービスの連結売上高は3,274,786千円（前年同期比104.2%）となりました。

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心にリペアを提供しておりますが、住宅市場の需要を積極的に取り入れたことで、同社のリペアサービスの売上高は2,673,079千円（前年同期比105.4%）と回復基調で推移いたしました。株式会社キャンディルテクトに所属しておりました集合住宅を中心とするリペア部門は、2023年4月1日付けの会社分割により株式会社キャンディルデザインへ承継いたしました。株式会社キャンディルテクトの第2四半期連結累計期間のリペアサービスの売上高は410,037千円、株式会社キャンディルデザインの当第3四半期連結累計期間のリペアサービスの売上高は191,669千円であり、当該2社を合算した当第3四半期連結累計期間のリペアサービス売上高は601,707千円（前年同期比99.2%）となりました。

② 住環境向け建築サービス

当第3四半期連結累計期間における住環境向け建築サービスの連結売上高は2,234,206千円（前年同期比107.9%）となりました。

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心に定期点検、検査、小型修繕、各種施工、リコール対応を提供して

おりますが、定期点検数の増加や単価上昇などにより、同社の住環境向け建築サービスの売上高は1,788,472千円（前年同期比110.7%）となりました。株式会社キャンディルテクトに所属しておりました集合住宅を中心とする検査部門は、2023年4月1日付けの会社分割により株式会社キャンディルデザインへ承継いたしました。株式会社キャンディルテクトの第2四半期連結累計期間の住環境向け建築サービスの売上高は305,951千円、株式会社キャンディルデザインの当第3四半期連結会計期間の住環境向け建築サービスの売上高は139,781千円であり、当該2社を合算した当第3四半期連結累計期間の住環境向け建築サービスの売上高は445,733千円（前年同期比97.8%）となりました。

③ 商環境向け建築サービス

当第3四半期連結累計期間における商環境向け建築サービスの連結売上高は2,919,919千円（前年同期比110.6%）となりました。

商環境向け建築サービスは主に商業施設などの内装工事、家具組立て、揚重を提供しておりますが、商環境の市場回復に伴うホテルや商業施設の内装工事需要などを取り込んだ結果、増収となりました。

④ 商材販売

当第3四半期連結累計期間における商材販売の売上高は459,484千円（前年同期比100.3%）となりました。

商材販売は主にリペア材料やメンテナンス材料を販売しておりますが、前年同期並みに推移いたしました。

⑤ 抗ウイルス抗菌サービス

当第3四半期連結累計期間における抗ウイルス抗菌サービスの売上高は343,823千円（前年同期比268.4%）となりました。

抗ウイルス抗菌サービスは室内の壁面・天井、水まわり、床などの各種コーティングを提供しておりますが、業務提携効果や家電量販店などとの協業により水まわりコーティング案件が好調に推移し、増収となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（総資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は5,920,880千円となり、前連結会計年度末に比べ559,518千円の減少となりました。

流動資産は3,352,465千円となり、前連結会計年度末に比べ397,115千円の減少となりました。これは、主に現金及び預金が342,360千円減少したこと、受取手形及び売掛金が75,839千円減少したことなどによります。

固定資産は2,568,414千円となり、前連結会計年度末に比べ162,403千円の減少となりました。これは、主にのれんが144,167千円減少したこと、繰延税金資産が32,936千円減少したことなどによります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は3,239,126千円となり、前連結会計年度末に比べ724,421千円の減少となりました。

流動負債は2,303,309千円となり、前連結会計年度末に比べ492,259千円の減少となりました。これは、主に短期借入金が458,335千円減少したこと、未払法人税等が82,206千円減少したこと賞与引当金が74,464千円減少したことなどによります。

固定負債は935,817千円となり、前連結会計年度末に比べ232,162千円の減少となりました。これは、主に長期借入金が232,497千円減少したことなどによります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,681,753千円となり、前連結会計年度末に比べ164,903千円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が146,939千円増加したことなどによります。この結果、自己資本比率は45.3%（前連結会計年度末比6.4ポイント上昇）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（2023年8月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,892,412	1,550,051
受取手形及び売掛金	1,555,662	1,479,822
商品及び製品	128,955	128,530
原材料及び貯蔵品	31,728	33,927
その他	147,266	164,426
貸倒引当金	△6,444	△4,292
流動資産合計	3,749,580	3,352,465
固定資産		
有形固定資産	51,358	63,052
無形固定資産		
のれん	2,306,684	2,162,516
その他	145,282	116,739
無形固定資産合計	2,451,967	2,279,256
投資その他の資産		
繰延税金資産	94,769	61,833
その他	136,194	168,597
貸倒引当金	△3,471	△4,324
投資その他の資産合計	227,492	226,105
固定資産合計	2,730,817	2,568,414
資産合計	6,480,398	5,920,880

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	331,179	329,560
短期借入金	658,335	200,000
1年内返済予定の長期借入金	699,996	709,996
未払法人税等	125,769	43,562
賞与引当金	142,615	68,151
未払費用	502,788	507,378
その他	334,884	444,659
流動負債合計	2,795,568	2,303,309
固定負債		
長期借入金	1,159,180	926,683
その他	8,799	9,134
固定負債合計	1,167,979	935,817
負債合計	3,963,548	3,239,126
純資産の部		
株主資本		
資本金	561,787	561,787
資本剰余金	2,281,887	2,281,178
利益剰余金	467,596	614,536
自己株式	△794,420	△775,748
株主資本合計	2,516,850	2,681,753
純資産合計	2,516,850	2,681,753
負債純資産合計	6,480,398	5,920,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)
売上高	8,441,754	9,232,220
売上原価	5,373,547	5,869,805
売上総利益	3,068,206	3,362,415
販売費及び一般管理費	2,825,396	2,965,942
営業利益	242,810	396,473
営業外収益		
受取利息	37	51
受取保険金	2,775	3,432
助成金収入	1,392	624
固定資産売却益	-	2,396
その他	1,668	2,626
営業外収益合計	5,874	9,130
営業外費用		
支払利息	12,579	10,072
損害賠償金	24,248	-
固定資産除却損	-	5,924
障害者雇用納付金	2,100	1,675
その他	2,703	564
営業外費用合計	41,631	18,236
経常利益	207,053	387,367
税金等調整前四半期純利益	207,053	387,367
法人税、住民税及び事業税	99,040	152,412
法人税等調整額	47,264	32,936
法人税等合計	146,305	185,349
四半期純利益	60,748	202,017
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,748	202,017

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	60,748	202,017
四半期包括利益	60,748	202,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,748	202,017
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益のうち、サービス別に分解した情報は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	3,143,249
住環境向け建築サービス	2,071,170
商環境向け建築サービス	2,641,073
商材販売	458,181
抗ウイルス抗菌サービス	128,078
顧客との契約から生じる収益	8,441,754
その他の収益	—
外部顧客への売上高	8,441,754

当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	建築サービス関連事業
サービス別	
リペアサービス	3,274,786
住環境向け建築サービス	2,234,206
商環境向け建築サービス	2,919,919
商材販売	459,484
抗ウイルス抗菌サービス	343,823
顧客との契約から生じる収益	9,232,220
その他の収益	—
外部顧客への売上高	9,232,220